

アコヤガイ稚貝モニタリング調査結果

(調査日：令和3年6月15日)

愛媛県農林水産研究所水産研究センター

1 調査結果の概要

- ・宇和海中部と南部の一部の地区で、今年度（R3）春生産稚貝の一部にへい死が確認された。
- ・へい死率は、多い地区で50%程度であり、へい死が見られなくても、貝殻真珠層の褐変や、外套膜の萎縮が確認された地区があった。
- ・今後、水温の上昇に伴って、へい死地域、数量が拡大する可能性があるため、貝の負担になるような作業については控えるよう、ご注意ください。

2 調査結果一覧

漁場 ^{*1}	貝の種類 (R3春産)	へい死率 (%)	褐変個体 出現率(%)	外套膜萎縮個体 出現率(%)
中部	日中交雑貝 ^{*2}	0~60	0~40	0~25
南部	日中交雑貝	0~30	0~40	0~65
	日本貝	0~50	0~85	0~55

*1 漁場： 中部：由良半島から三浦半島 南部：由良半島以南

*2 日中交雑貝：日本貝と中国貝の交雑貝

3 調査方法

- ・水産研究センター職員と漁協職員が、各漁場を回りへい死率を確認するとともに、貝の系統毎に20個体を水産研究センターに持帰り、貝殻及び貝肉の状態を調査。